



9月中旬生活介護職員が「防災・救急対応の研修」として白石区にある札幌市防災センターで様々な体験をしてきました。



地震体験

阪神・淡路大震災と同じ揺れを体験しました。普段体験しない揺れに職員も驚きを隠せません。しかし、実際は体験の3~4倍の長さで、家具なども動くのでもっと激しいのだとか。日頃から家具などの固定はしっかり行うことが大切です。



消火体験

模擬消火器を使用して初期消火の体験をしました。バーチャルモニターを使用して、鍋・ストーブ・電気コンセントからの発火時の消火を体験しました。炎の上を消火しても消えず、下を狙って消火することが大事です！



その他にも「暴風」「煙避難」「救急対応」「防災バックの展示」などを体験し、普段なかなか意識しない部分と普段から意識する部分を再確認することができました。

災害はいつ起こるかわからないものなので、いつ起こっても冷静に行動できるよう日頃からの準備と学びが必要なことを改めて実感した研修でした。

